

# 三越伊勢丹グループの1年

## 伊勢丹本店リモデル

2008年9月、本館地下2階の「イセタンガール」、本館2階の「マ・ランジェリー」と「ビューティーアポセカリー」がリモデルオープンしました。このリモデルは、「お客さまの心理」を追求し、品揃え・展開・環境・販売サービスのすべてを見直しました。

「イセタンガール」では学生ならではの「かわいく見られたい」という心理、マ・ランジェリーでは「肌着に対しても美や癒しにこだわりたい」という心理を、ビューティーアポセカリーでは「体の内側からも美しく、健康でありたい」という心理をそれぞれのお買場に反映しました。この新しいショップ提案はお客さまの新たな購買心理の把握にも繋がっています。

今後も多くのお客さまの変化や百貨店が提供すべき価値を見出すためのトライアルを続けてまいります。



イセタンガール

## 三越日本橋本店のトライアル

三越日本橋本店はさまざまな年代層のお客さまのニーズを把握し、お買場作りを行うためのトライアルを実施しています。2009年3月には本館2階の紳士カジュアルを今までのブランド展開からアイテム展開に変え、ブランドを超えたコーディネートが提案できるお買場になりました。また、婦人服では30代・40代のお客さまに向け、年代・テイスト別でお買場の編集を行い、お客さまの利便性を高めました。2009年4月には本館5階に「リミックススタイル」を導入し、キッチン用品と食器をデザイン性という切り口で編集した新しいショップ提案をしています。



## 三越仙台店グランドオープン

三越仙台店は、隣接する141ビルを2008年11月から2009年3月にかけて順次改装し、「定禅寺通り館」としてオープンしました。売場面積が3万平方メートルを超え、東北最大級の百貨店となりました。3世代のお客さまにお越しいただける百貨店を目指します。



## 伊勢丹アイカードに新たなサービス

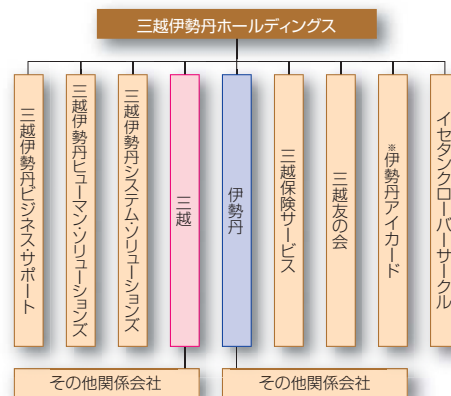
伊勢丹アイカードは、2008年11月に、国際ブランド「VISA」を付帯した新たな伊勢丹アイカードを発行、新規の特典やサービスとともにご利用範囲が大幅に拡大しています。また、資産運用や相続に関する新たなサービスを開始するなど、会員の皆さまからご相談いただける内容をさらに充実しました。2009年4月1日より、三越カードと伊勢丹アイカードは、それぞれ三越と伊勢丹の各店で相互優待利用が可能となっています。



## グループ組織再編

三越伊勢丹グループでは、事業・機能の選択と集中により、経営資源をグループ全体で再配分・最大限活用することで、お客さま満足の向上、生産性の向上を図ることを目指しています。その一環として2008年度は、三越および伊勢丹のカード・保険子会社、友の会子会社、物流子会社および人材サービス子会社の再編に取り組みました。

組織再編後のグループ組織（2009年4月1日現在）



※2009年9月1日より、EMアイカードに社名変更。

## 大阪新店オープンへ向け準備進む

大阪新店は、関西圏における旗艦店舗として2011年春のグランドオープンの準備を予定通り進めています。店名は「JR大阪三越伊勢丹」に決定しました。JR西日本グループの地元密着力と鉄道沿線のネットワーク力を活かし、三越と伊勢丹のコアコンピタンスを掛け合わせた、お客さまの暮らしのさまざまなシーンでお役に立てる店を目指しています。

